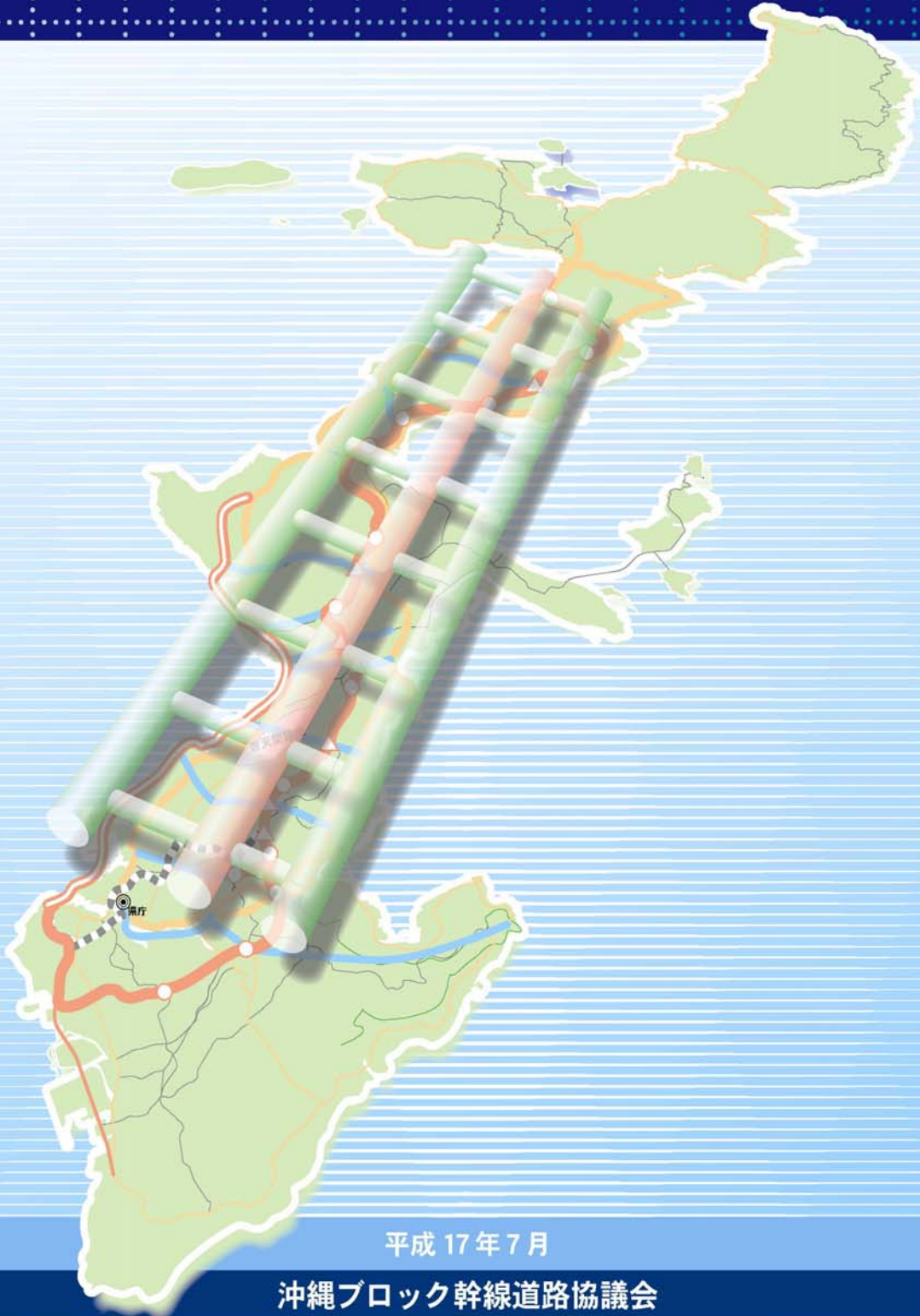


「ハシゴ道路」の構築

～「使える」ハイウェイを目指して～



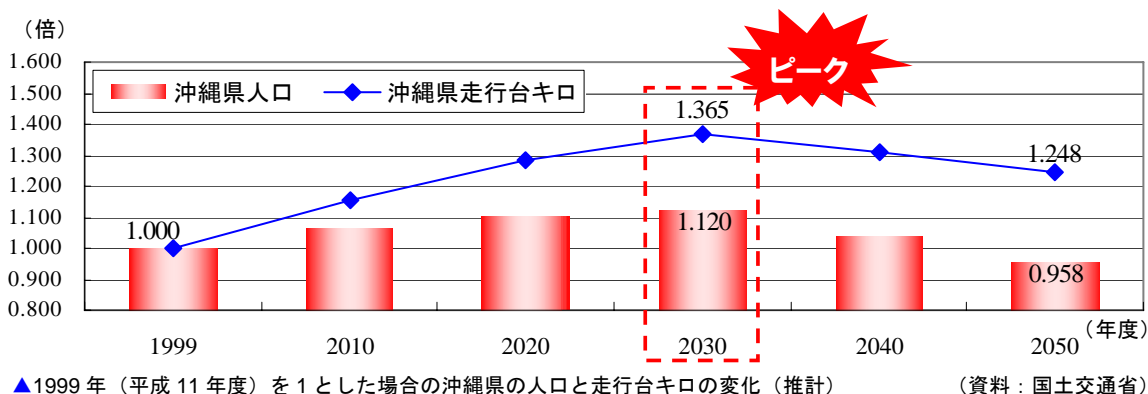
平成 17 年 7 月

沖縄ブロック幹線道路協議会

1. 沖縄の現状

近年、沖縄県は人口の増加に伴う自動車台数の増加や観光客数の増加が著しい状況が続いており、今後も増加が見込まれています。道路行政には、これら現状に対する渋滞状況の改善、観光振興、物流の効率化など沖縄の発展に向け幅広い期待が寄せられています。

人口と共に増加する自動車走行台キロ

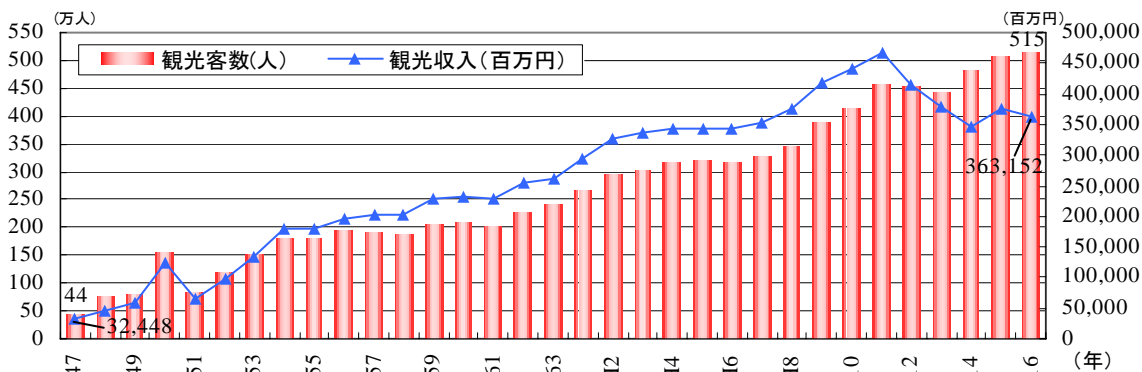


集中する交通量(九州・沖縄地区比較)

順位	路線名	観測地点	交通量(台/日)	車線数
1	一般国道58号	沖繩県浦添市勢理客	86,461	6
2	一般国道3号	福岡県遠賀郡水巻町頃末	81,872	4
3	一般国道10号	大分県別府市南的ヶ浜町	80,638	6
4	一般国道202号	長崎県長崎市大黒町長崎駅前	79,648	6
5	一般国道331号	沖繩県那覇市垣花	75,874	6
6	(主)熊本高森線	熊本県熊本市国府一丁目	72,392	6
7	一般国道330号	沖繩県浦添市沢岬	71,444	4
8	一般国道57号	熊本県熊本市保田窪3丁目	69,472	6
9	一般国道201号	福岡県粕屋郡粕屋町大字江辻	67,027	4
10	一般国道34号	長崎県諫早市貝津町	65,353	6

▲九州・沖縄地区の平日昼間24時間交通量の上位10箇所 (資料: H11 センサス)

高まる観光需要

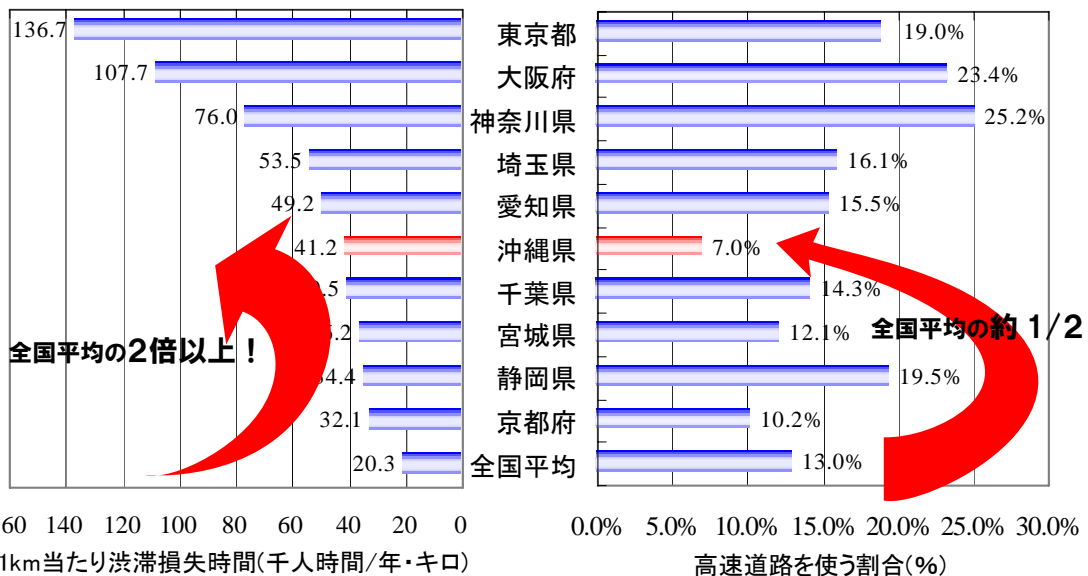
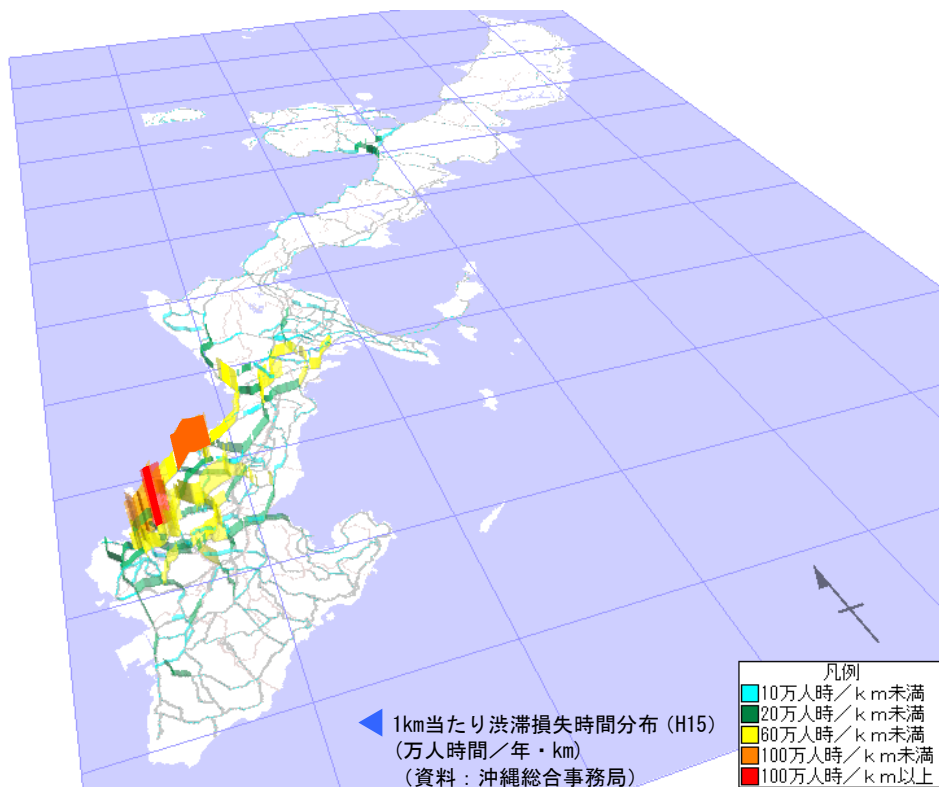


▲入域観光客数と観光収入の推移 (資料: 沖繩県観光企画課)

2. 慢性的な交通渋滞と課題

沖縄における渋滞状況は、全国的に見て三大都市圏について悪く、特に西海岸地域において顕著に現れており、沖縄県の振興、発展にとって大きな課題となっています。しかしながら、依然として高速道路の利用率は低く、集中する交通渋滞を解消するため、道路規格に応じた機能分担による交通量の分散を図る必要があります。

渋滞により失われる時間（負担の大きい西海岸地区）



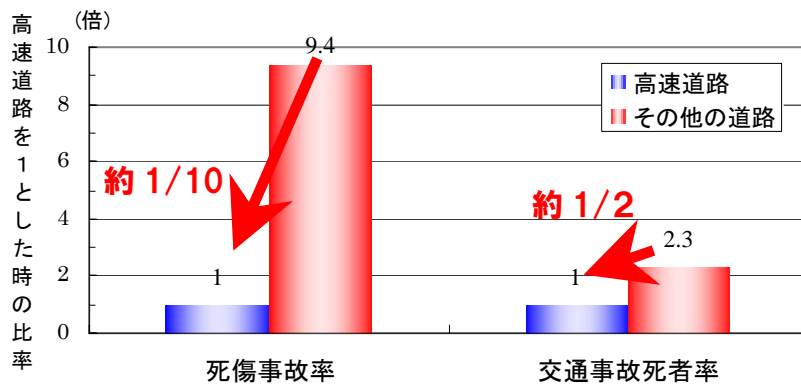
▲1km当たり渋滞損失時間ワースト地域規格の高い道路を使う割合（資料：国土交通省）

安全・快適で地球環境にやさしい高速道路

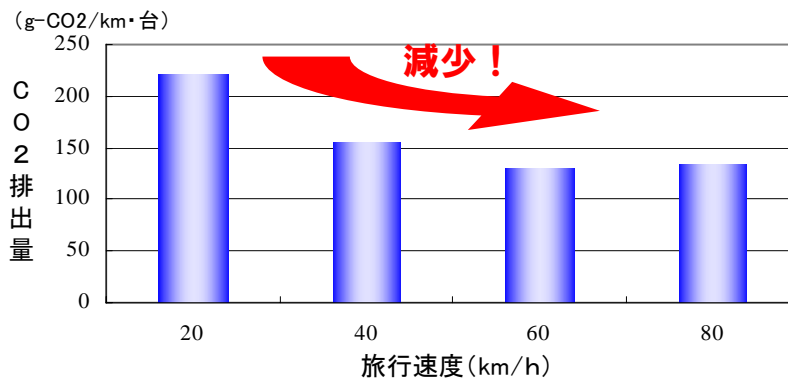
高速道路は、一般道路に比較して死傷事故率が低く安全性の高い道路です。また、信号などによるストップ&ゴーがなく、地球温暖化の要因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制することが可能で、地球温暖化対策の効果が高い道路です。

今後も、より一層「使える」ハイウェイとして利用促進が期待されています。

高い安全性と低い環境負荷

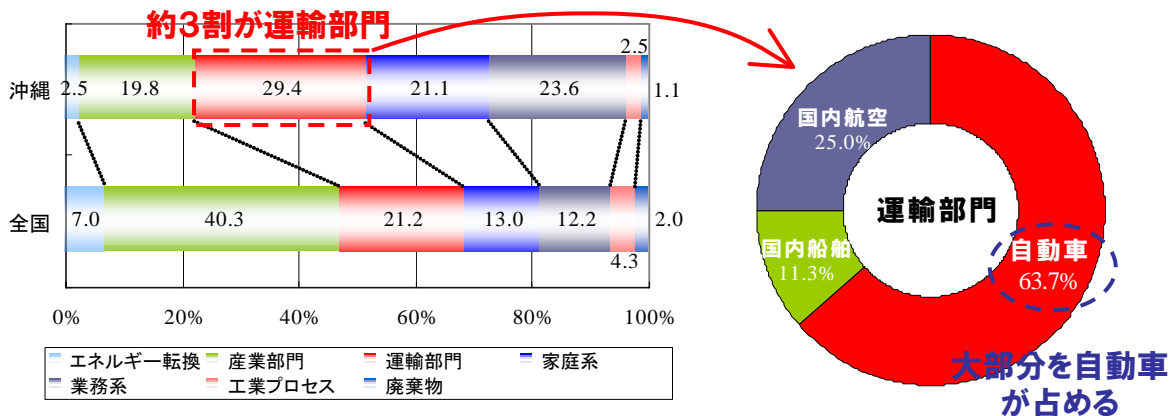


▲高速道路と一般道路の死傷事故率と死傷率 (資料：国土交通省)



▲旅行速度とCO2排出量の関係(乗用車) (資料：国土交通省)

自動車交通による環境負荷



▲二酸化炭素の部門別排出割合と運輸部門の排出割合 (1999年) (資料：沖縄県)

4. ETC の活用

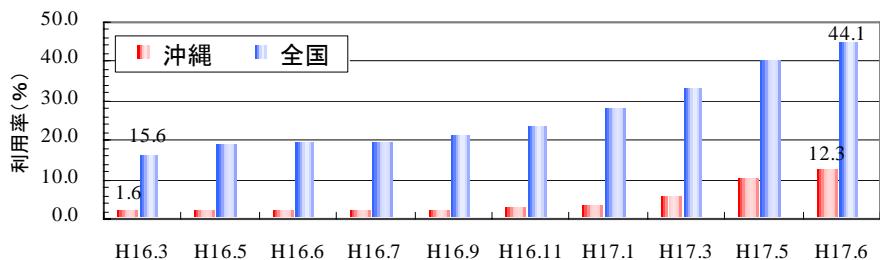
ETCは、コスト縮減、ノンストップ通過による快適性・利便性の向上や環境負荷の低減など数多くのメリットがあります。また、料金割引制度やスマートICなど様々なサービスにより「使える」ハイウェイを目指します。

3つのメリット



- ①コスト縮減**
 - ・ETC 専用の『スマート IC』は、簡易な構造であるため立体交差を有する既存 IC に比べ約 3 割、設置コストが縮減できます。
 - ・料金収受員が削減可能となり、人件費が縮減できます。
 - ・時間帯別の割引など、弾力的な料金施策が可能です。→利用者にとって通行コスト縮減になります。
(沖縄自動車道の時間帯別割引)
【通勤割引：5 割引 6 時～9 時、17 時～20 時】
【深夜割引：3 割引 0 時～4 時】
- ②快適 & 便利**
 - ・料金所がノンストップで通過できます。
 - ・雨の日でも料金所で窓を開ける必要がありません。
 - ・料金所の混雑、渋滞が大幅に緩和されます。
- ③環境にやさしい**
 - ・料金所のストップ＆ゴーが無くなり、排気ガスが軽減されます。
 - ・料金所渋滞が大幅に緩和され、排気ガスが軽減します。

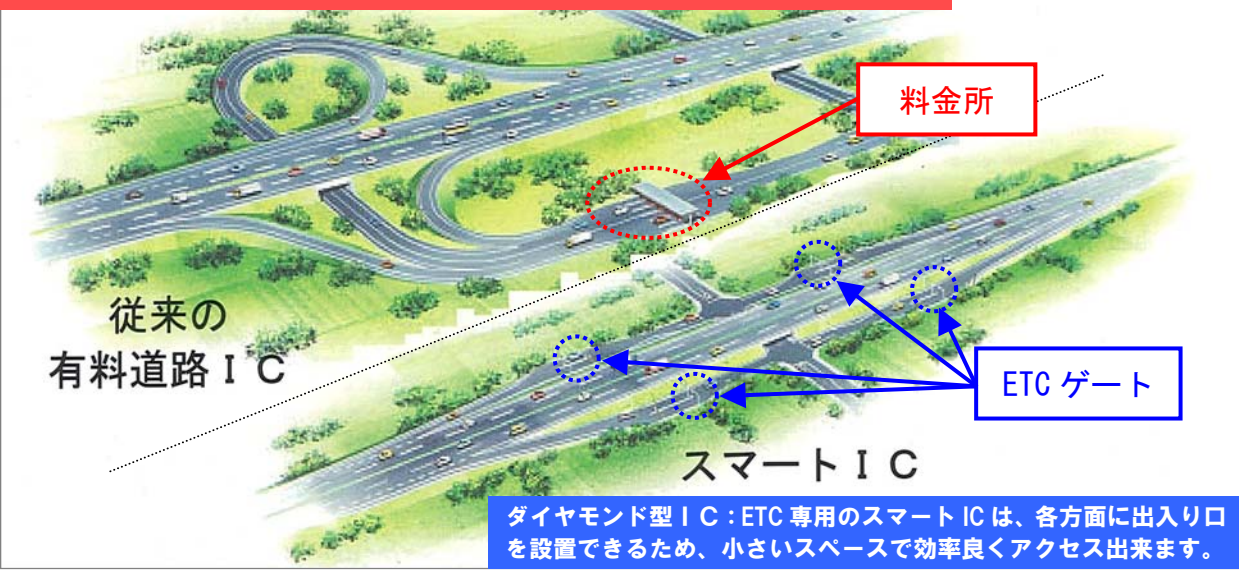
まだまだ低い ETC の利用状況



▲ETC 利用率の推移 (全国と沖縄) (資料：日本道路公団)

スマート IC とは?

トランペット型 IC：従来のインターチェンジは、料金所が一箇所のため各方面からアクセス道路を集中させなければならず、大きなスペースと費用が必要となります。



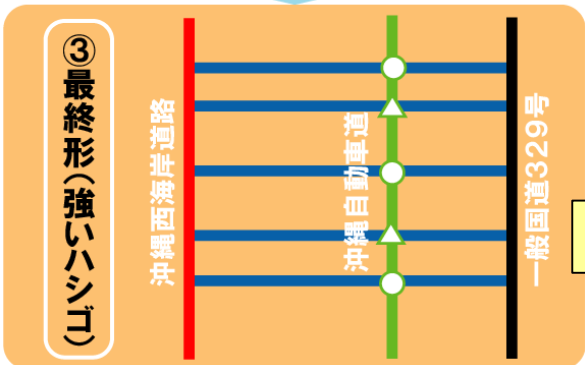
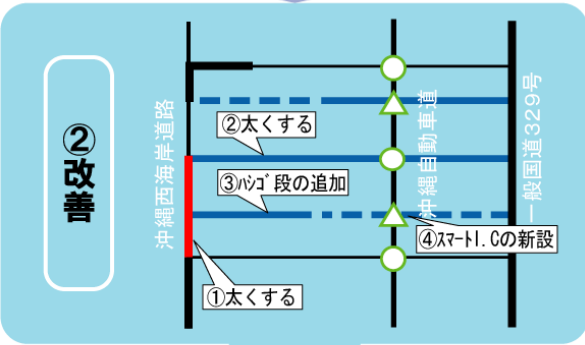
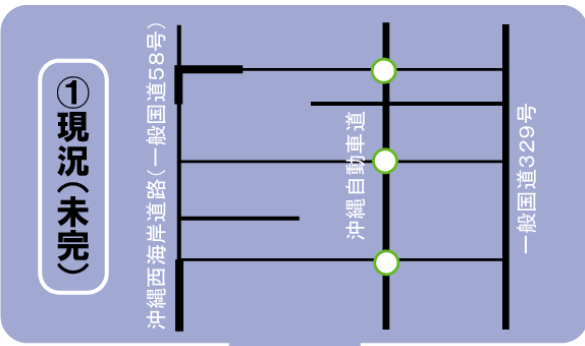
ダイヤモンド型 IC：ETC 専用のスマート IC は、各方面に出入り口を設置できるため、小さいスペースで効率良くアクセス出来ます。

▲スマート IC の特徴

(資料：国土交通省)

5. 『ハシゴ道路』をつくる ～快適な交通環境の実現～

一般国道58号、329号及びその間に位置する沖縄自動車道を柱としたハシゴ状の道路ネットワーク（沖縄西海岸道路の整備、東西道路の追加・強化及びスマートICの導入）を構築することにより、渋滞の解消や交通事故抑制、観光支援、地球温暖化対策、物流の効率化等への効果が期待されます。



▲ハシゴ構造の強化イメージ

-凡例-

東西連結道路	—
沖縄都市モノレール	■ ■ ■ ■
既設I.C	○
候補I.C	△

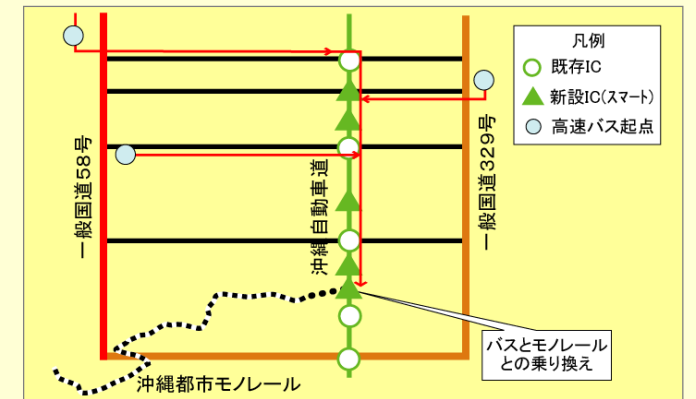


新道路ネットワークの活用

★高速バスとモノレールの連携★

～さらなる利便性向上を目指して～

モノレールを首里駅から高速道路まで延長し、高速バスとの連携を図ることにより、那覇と中北部を連絡する高速公共交通が実現します。

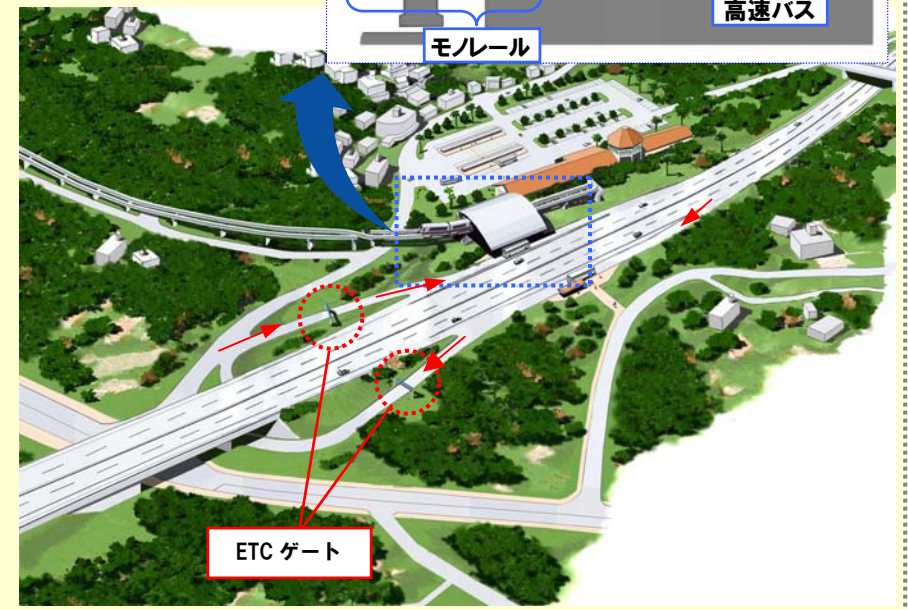


▲高速バスとモノレールの乗り継ぎ連携イメージ

駅舎イメージ▶



スマートICを活用した高速バスとモノレールの接続イメージ▶



※これは「ハシゴ道路」のイメージ図です。

